

第 80 回日本臨床眼科学会

- 日 時** 2026 年 10 月 29 日 (木) ~ 11 月 1 日 (日)
- 場 所** 国立京都国際会館 (〒 606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422)
ザ・プリンス京都宝ヶ池 (〒 606-8505 京都市左京区岩倉幡枝町 1092-2)
- 学会長** 近藤峰生 (三重大)
- 副学会長** 今野信太郎 (三重県眼科医会)
- プログラム委員長** 平岡孝浩 (筑波大)
- テーマ** The long and winding road
- 主管校** 三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座眼科学 (〒 514-8507 津市江戸橋 2-174)
事務局長: 松原 央
- プログラム** 特別講演
「新しい網膜診療を切り拓く—どこから来たのか、何者か、どこへ行くのか」 瓶井資弘 (愛知医大)
「視神経炎診療の変遷と進歩—長年の対峙から見た過去・現在・未来」 石川 均 (北里大)
- 招待講演
「Keratoconus—Early diagnosis, progression and stage-appropriate therapy」
Berthold Seitz (Saarland University Medical Center)
「次世代の先生方に伝えたいこと—メイヨークリニックで研究と教育に携わって」
紀太博仁 (Mayo Clinic)
- シンポジウム
見逃すな! 涙道領域における緊急疾患の最前線治療
角膜移植手術の Cutting edge
屈折矯正術後眼に対する白内障手術の最適戦略
見直される緑内障点眼治療: Evidence と Real World の交差点
視力を脅かす糖尿病網膜症を究める!
網膜硝子体疾患と緑内障のクロスポイント—臨床の知と研究の視点から見えるもの
免疫を標的とした眼疾患治療の新時代—生物学的製剤による個別化医療へ
斜視手術アップデート—症例別アプローチと最新知見
どうする? どう選ぶ? 屈折矯正の最前線—眼鏡から角膜屈折矯正, 眼内レンズまで
それ, 眼内腫瘍かもしれません—初期診断から治療まで
画像から読み解く遺伝性網膜疾患の病態
見える幸を支える眼科医療: Well-being の視点から考える視覚と社会のこれから
Vision for Health, Happiness, and Social Impact
眼科周術期 ヒヤットとしないための感染症対策
分子標的薬で変わる甲状腺眼症診療
より良好な術後視機能を提供するために, 網膜剥離手術を再考する!
研究の苦勞とヒラメキの瞬間: The long and winding road
10 年・20 年先の眼科はなる: The long and winding road
AI は医師の「目」と「脳」をどう拡張するか?: 臨床意思決定支援の最前線
社会保険会議シンポジウム
視能訓練士プログラム
強度近視のマネジメント—適切な診療を行うための CO の役割を考える
ナーシングプログラム
眼科看護と働き方改革
病医院運営プログラム
いざという時こそ役立つ眼科医療—災害対応力を磨く実践テクニック
Young Ophthalmologists Committee シンポジウム

参加登録

事前参加登録期間：2026 年 3 月 3 日（火）12：00～9 月 25 日（金）12：00

後期参加登録期間：2026 年 10 月 1 日（木）12：00～会期終了

本会の参加登録手続きは、インターネットからのオンライン登録のみ受け付けます。

参加費

参加区分	事前参加登録	後期参加登録
医師	20,000 円	27,000 円
研修医 ^{*1} 〔新臨床研修医制度 4 年目（後期研修 2 年目）まで〕	5,000 円	7,000 円
大学院生、留学生、コ・メディカル ^{*1}	5,000 円	7,000 円
コ・メディカルサンデーパス 〔11 月 1 日（日）のみ参加 ^{*1*2} 〕	—	3,000 円
非医師・民間研究員	20,000 円	27,000 円
初期研修医・学生（医療系） ^{*1}	無料	無料

・税区分：課税（税金 10% 込）

・共催セミナーなどの飲食費については、参加登録費には含まれません。

^{*1}「研修医」、「大学院生、留学生、コ・メディカル」、「コ・メディカルサンデーパス（10 月 12 日（日）のみ参加）」、「初期研修医・学生（医療系）」は、主任教授または所属長等の証明書が必要です。「学生（医療系）」は学生証の写しでも可能ですが、有効期限の記載の写しも必要です。オンライン登録時に登録区分証明書のアップロードが必要となりますので、事前に登録区分証明書【PDF】をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、アップロード（ファイルの添付）ができるようご準備ください。

^{*2}コ・メディカルサンデーパスでの参加は、11 月 1 日（日）現地参加のみとなります。オンライン視聴はできませんので、あらかじめご了承ください。

公益社団法人日本視能訓練士協会会員の方へ

特定の職場に勤務していない場合など所属長の証明を取得できない方は、登録区分証明書に視能訓練士協会会員番号をご記入ください。また、当日登録の場合は、会員証もあわせてご提示ください。

学会ウェブサイト <https://convention.jtbcom.co.jp/80ringan/index.html>

運営事務局 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション事業局内
（〒 530-0004 大阪市北区堂島浜 1-1-27 大阪堂島浜タワー 5 階）
TEL：06-4964-8869 E-mail：80ringan@jtbcom.co.jp

第 37 回日本緑内障学会

会期 2026 年 10 月 2 日（金）～4 日（日）

会場 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ（〒 422-8019 静岡市駿河区東静岡 2-3-1）

会長 柏木賢治（山梨大学医学部眼科学教室）

テーマ テクノロジーとヒューマニティの融合による緑内障の克服

学会ウェブサイト <https://www.congre.co.jp/jgs2026/index.html>

プログラム 須田記念講演「緑内障の早期診断（仮）」

招待講演「科学技術と共に実現するインクルーシブな未来社会に向けて」

Japan-Asia symposium 「Japan-Asia symposium New styles of glaucoma surgeries and imaging in Asia.」

シンポジウム 続発緑内障の病態理解から実践管理

海外の知見から緑内障を再考する

緑内障 AI 研究の今とこれから

最新の緑内障画像診断

緑内障と社会とのかかわり

分子生理機構から学ぶ網膜および視神経の病態
 眼圧下降によらない緑内障治療の可能性
 緑内障手術の現在地と未来戦略
 緑内障早期診断の新展開
 近未来の緑内障治療薬
 新しい緑内障の病態解明と治療の可能性
 神経機能の回復を目指した最新の基礎研究
 緑内障研究の未来を拓く：ダイバーシティ推進による革新と協働のかたち
 緑内障疫学研究の推進：多因子疾患への包括的アプローチと次世代研究の展望
 緑内障の進行判定基準を再考する
 次世代視野検査の可能性を探る
 ビッグデータを用いた緑内障研究事例
 緑内障新規検査機器、治療法開発の課題について
 基礎研究が拓く、緑内障性視神経障害の新たな病態像
 緑内障の遺伝学：病態解明と個別化医療への展望
 未来への挑戦—若手が描く緑内障研究
 房水流出路のサイエンス

教育セミナー 緑内障進行判定の現実と理想

緑内障診療における社会的サポートの実践知識

参加登録

後期参加登録：2026年：8月7日（金）正午～11月16日（月）

登録費

区分		後期参加登録
医師・教育研究機関研究員	会員	20,000 円
	非会員	23,000 円
企業職員		25,000 円
メディカルスタッフ*	会員	8,000 円
	非会員	10,000 円
研修医*		10,000 円

* 学生（大学院生を除く）は無料です。現地の参加登録受付で学生証をご提示ください。

* メディカルスタッフ・研修医の方は、所属長の証明が必要です。

* 研修医：新臨床研修医制度3年目（後期研修1年目）までとします。

第259回 O.C.C.

日時 2026年10月17日（土）14：00～17：00
場所 第二吉本ビルディング（大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 8階）
テーマ メディカル網膜・眼炎症 2026：最近の Topics
連絡先 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室
 TEL：06-6879-3456 FAX：06-6879-3458

第46回日本眼薬理学会

日時 2026年11月7日（土）・8日（日）
場所 じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）（〒500-8856 岐阜市橋本町 1-10-11）
会長 嶋澤雅光（岐阜薬科大学 薬効解析学研究室）
テーマ 多様な視点で拓く眼科創薬の未来

学会ウェブサイト <https://square.umin.ac.jp/jsop46/index.html>

参加登録 直前・当日登録：2026年9月1日（火）～11月8日（日）16：00

参加登録費

参加区分	事前登録	直前・当日登録	税区分
会員 ^{※1}	6,000 円	8,000 円	不課税
非会員	8,000 円	10,000 円	10%税込
薬剤師，看護師，視能訓練士，後期研修医，医師の大学院生 ^{※2}	2,000 円	2,000 円	10%税込
初期研修医，学生（医師以外の大学院生含む） ^{※2}	無料		—

※1 日本眼薬理学会の会員

※2 「薬剤師，看護師，視能訓練士，後期研修医，医師の大学院生」「初期研修医，学生（医師以外の大学院生含む）」の区分を選んだ方は，所属長の証明が必要です。主任教授または所属長等の証明書または学生証の写しの提出が必要です。参加登録時に登録区分証明書をウェブサイトよりダウンロードし，必要事項を記入，所属長の署名・捺印後，アップロードしてください。

The 29th IRSJ (2026)・第25回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

日時 2026年11月14日（土） 12：30～17：15
場所 横浜シンポジア（〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9階）
会長 ジョイントセミナー会長 清水公也（山王病院アイセンター）
 IRSJ 会長 飯田嘉彦（北里大）
 眼科臨床機器研究会会長 庄司信行（北里大）

プログラム The 29th IRSJ (2026) 12：30～13：50
 オーガナイザー：川守田拓志（北里大・医療衛生）
 メインテーマ「老視矯正手術」
 モデレーター：飯田嘉彦（北里大），川守田拓志（北里大・医療衛生）
 「多焦点 IOL の術前検査」磯村俊也（広田眼科）
 「早期老視年齢における屈折矯正手術」五十嵐章史（代官山アイクリニック代官山院）
 「多焦点および焦点深度拡張型眼内レンズによる老視矯正」柴 琢也（六本木柴眼科）
 「眼内レンズによるモノビジョン」飯田嘉彦（北里大）
 第25回眼科臨床機器研究会 14：00～17：15
【講演Ⅰ】 白内障・硝子体手術装置 UNITY[®] SYSTEM
 モデレーター：柳田智彦（北里大）
 ①「UNITY Vitreoretinal Cataract System」眞杉拓自（日本アルコン）
 ②「硝子体手術での使用経験」大江阿子（北里大）
 ③「UNITY VCS の前房安定性の基礎的評価と臨床的有用性」鈴木久晴（善行すすき眼科）
【講演Ⅱ】 次世代型ハイスpek OCT：400 kHz がもたらす知見
 モデレーター：平澤一法（北里大）
 ①「BMizar 製品説明」古川健太郎（ニコンソリューションズ）
 ②「OCT 400 kHz の世界（仮）」武田大輔（アールイーメディカル）
 ③「DREAM OCT の使用経験について」西山剛生（北里大）
 ④「BMizar がもたらす網脈絡膜の新知見」星野順紀（群馬大）
【講演Ⅲ】 小児眼軸測定 OA-1 および小児近視矯正
 モデレーター：龍井苑子（北里大・医療衛生）

学会・研究会 ご案内

- ①「OA-1 の製品紹介と開発コンセプト」川村憲司（トーマコーポレーション）
- ②「北里大学における OA-1 の使用経験」鷺澤真之（北里大・医療系研究科）
- ③「小児近視における眼軸長測定役割」糸川貴之（東邦大・大森）

申込方法 下記 URL よりもしくは QR コードよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S98332121/>



事前登録締切 2026 年 10 月 16 日（金）

主 催 北里大学医学部眼科学教室

連絡先 東京都新宿区高田馬場 2-4-7 スタッフルームタケムラ（有）内

IRJS・眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

TEL：03-5287-3801 FAX：03-5287-3802 E-mail：rssympo@staffroom.jp

第 50 回日本眼科手術学会学術総会

日 時 2027 年 1 月 29 日（金）～1 月 31 日（日）

場 所 東京国際フォーラム（〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1）

総会長 稲富 勉（国立長寿医療研究センター感覚器センター長、京都府立医科大学）

副会長 鈴木 聡（愛知県眼科医会会長）

テーマ 原点回帰と未来への革新 Back to the Basics & Future Innovation

学会ウェブサイト <https://www.jsos.jp/jsos50>

プログラム（予定） 特別講演

「サージャンなら新しい術式開発を目指そう」

演者：瓶井資弘（愛知医大），演者紹介：門之園一明（横浜市大視覚再生外科）

「房水メディエーターから考える緑内障病態と手術戦略」

演者：本庄 恵（東京大），演者紹介：相原 一（東京大）

International 50th JSOS symposium

「Beyond Cataract Surgery：The Global Future of Refractive Cataract Surgery」

Thomas Kohnen（Germany）

Terry Kim（USA）

50 周年記念企画：原点回帰—日本眼科手術 50 年の歩みと未来への継承—

総会長企画

シンポジウム

教育セミナー

ナーシングプログラム

視能訓練士プログラム

インストラクションコース

一般講演

共催セミナー

学術展示

市民公開講座

参加登録 事前通常登録期間（通常）：2026年8月21日（金）～11月12日（木）

	事前参加（通常）	当日登録
会員	¥15,000	¥20,000
非会員	¥20,000	¥25,000
大学院生・後期研修医	¥8,000	¥10,000
コメディカル	¥3,000	¥5,000
コメディカルサンデーバス (1月31日のみ参加)	—	¥3,000
初期研修医・学生・留学生	—	無料
企業	—	¥5,000（※）

（※）企業展示会場のみ入場可

※詳細は、学術総会ウェブサイトにてご案内いたします。

連絡先 第50回日本眼科手術学会学術総会 運営事務局
株式会社JTB コミュニケーションデザイン コンベンション事業局内
〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-1-27 堂島浜タワー5階
E-mail：jsos50@jtbcom.co.jp

第24回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

日 時 2027年2月27日（土）午後2時45分～5時15分

開催形式 ウェブ開催＋オンデマンド配信

テーマ 弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ
「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報－その9－」

プログラム 講演
「外斜視手術におけるMP-3機能評価と術後矯正効果」近江正俊（関西医大）
「斜視手術の安全性を考える－斜視手術の合併症に関する全国調査（JASS Study）」山本昭成（京都大）
「小児眼科画像診断の基礎とアップデート：OCTで読み解く構造と機能」西 智（奈良医大）
「視能検査を学ぶ その1 立体視検査の特性から閾値データの取り扱い、グラフの描き方まで」
前田史篤（新潟医療福祉大）

特別講演

「複視の見方と考え方」佐藤美保（浜松医大）

レチノスコーピー講習会（WEBのみ）

登録料 医師3,000円、非医師1,000円

主 催 近畿弱視斜視研究会（遠藤高生，不二門尚，木村亜紀子，雲井弥生，初川嘉一，稗田 牧，増田明子，三宅三平，宮田 学，村木早苗，森本 壮，西 智，野村耕治，佐々本研二，下條裕史，白井久美，四宮加容，杉山能子，菅澤 淳，立花都子，近江正俊，内海 隆，山本昭成，横山 連），参天製薬

事務局 森本 壮（大阪大学眼科）

問合先 加藤大貴（参天製薬株式会社）TEL：0120-310-106 E-mail：daiki.kato@santen.com